高知県感染症発生動向調査（週報）

２０２５年　第３１週　　（7月２８日～８月３日）

★県内での感染症発生状況

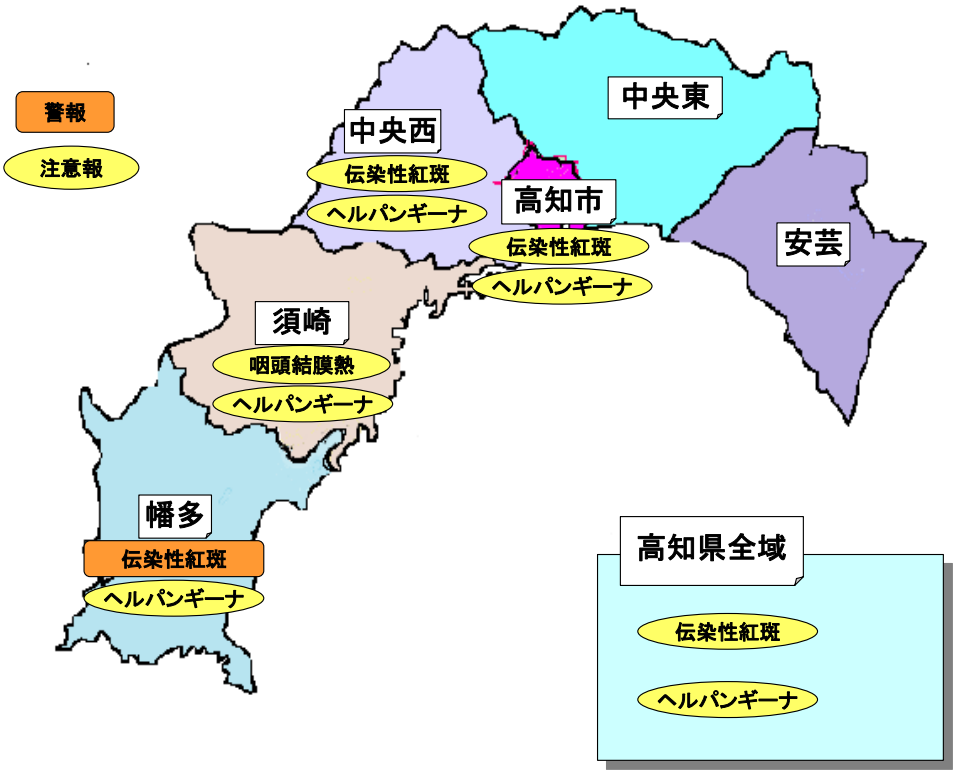
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位５疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
新型コロナウイルス感染症	↗	5.76	高知市で増加していますが、須崎、安芸で減少しています。
感染性胃腸炎	↗	2.45	高知市、須崎、中央東で急増していますが、中央西、安芸で急減、幡多で減少しています。
ヘルパンギーナ	↘	2.35	須崎で急増していますが、中央西、中央東で急減、幡多、高知市で減少しています。
RS ウイルス感染症	↗	1.75	中央東で急増、高知市で増加していますが、安芸、須崎で急減、幡多で減少しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.65	中央東、須崎で急増していますが、幡多で急減、中央西で減少しています。

＜推移の基準＞

急増	↑	前週と比較し、2 倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5 倍以上～0.8 倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2 倍以上～2 倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5 倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8 倍以上～1.2 倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後 3 時 30 分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

★気になる感染症

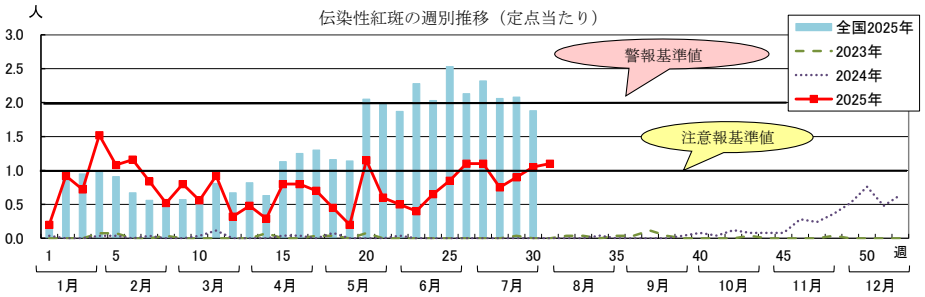
伝染性紅斑

県内の報告数は、昨年の同時期と比較すると非常に多い状態が続いており、全国も同様の傾向です。

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。

約 10～20 日の潜伏期間の後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がり、通常 1 週間程度で消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する 7～10 日前に微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。また、感染しても症状がない場合（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は妊婦健診の際に医師に伝えてください。



●予防方法

＊飛沫や接触感染するので、手洗い、咳エチケット等の予防対策が有効です。

＊予防接種はありません。

＊ウイルス排出時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

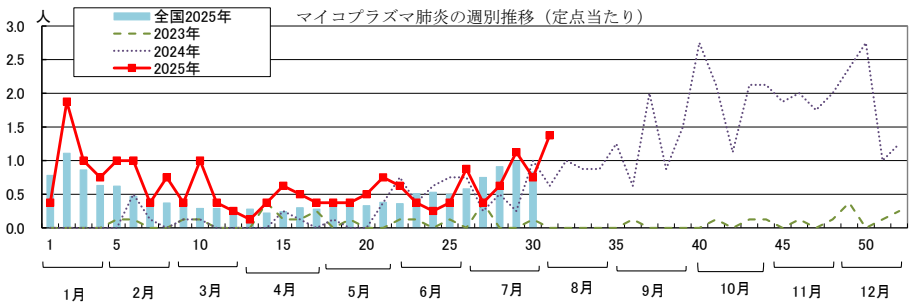
●学校感染症

伝染性紅斑は学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「発疹（リンゴ病）のみで全身症状がよければ登校可能」と規定される学校感染症（第 3 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

マイコプラズマ肺炎

第 24 週から増加傾向が継続しており、全国でも同様の傾向となっています。定点医療機関からのホット情報でも多くの事例が報告されています。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)という細菌によって引き起こされ、主な感染経路は飛沫感染、接触感染です。幼児から若年層にかけての発生が中心で、潜伏期は 2～3 週間、頑固な咳嗽と発熱が主症状で、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などを併発する症例も報告されています。重症肺炎となることもありますので、注意が必要です。



●予防方法

＊しっかりと手洗いすることが大切です。

＊患者の咳で感染するため、咳エチケットを守りましょう。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第 3 種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

百日咳

高知県の報告数は第 25 週から減少傾向となっていますが、過去の報告数と比較すると多い状態が続いています。現在 1,111 件（2025 年 1 月 1 日から 8 月 6 日までの累計速報値）となっており、全ての年齢層からの報告がみられます。

また、大きな流行となり始めた 4 月から 6 月に実施した薬剤耐性に関する調査では、28%（17/60 検体）が治療薬であるマクロライド系抗菌剤に耐性を示す百日咳菌でした。

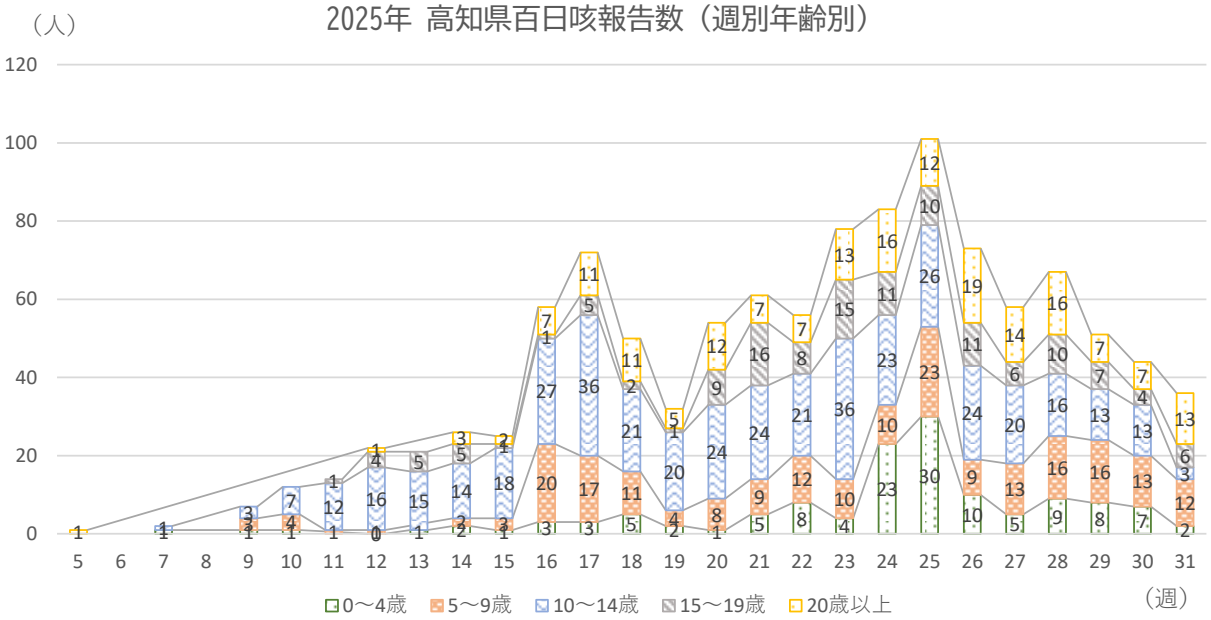
年間報告数

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
高知県	173	172	33	3	9	7	5	1,111
全国	12,115	16,845	2,819	707	491	1,000	4,093	56,664

年齢別・保健所管内別報告数　（受理週で集計）

年齢／保健所	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	総計
安芸	0	0	6	1	0	7
中央東	1	9	29	11	12	62
高知市	38	155	298	94	136	721
中央西	1	5	13	10	8	37
須崎	2	26	53	9	4	94
幡多	90	26	34	14	26	190
総計	132	221	433	139	186	1,111

（受理週で集計）



症状

① 通常 7～10 日の潜伏期を経て、通常の風邪症状となり、次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります（カタル期）。

② 短い咳が連続的に起こり（スタッカート）、続いて息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出ます（ウープ）。この様な咳嗽発作が繰り返すことをレプリーゼといい、しばしば嘔吐を伴います（痙咳期）。

③ 激しい発作は次第に減衰し、2～3 週間で認められなくなりますが、その後、時折発作性の咳が出て、全経過約 2～3 ヶ月で回復します（回復期）。

感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫や接触により感染します。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後 6 か月未満では死に至る危険性がある疾患です。成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。患者や百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することもあるので注意してください。

●予防方法

＊人混みはなるべくさけ、外出時にはマスクを着用しましょう。帰宅時には、手洗いを励行しましょう。

＊定期予防接種があります。ワクチンは生後 2 ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●学校感染症

百日咳は、学校保健安全法（同法施行規則第 18・19 条）では、学校感染症（第 2 種）に位置づけられており、「特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで出席停止」とされています。ただし、病状により感染の恐れがないと認められたときはこの限りではありません。

●参考

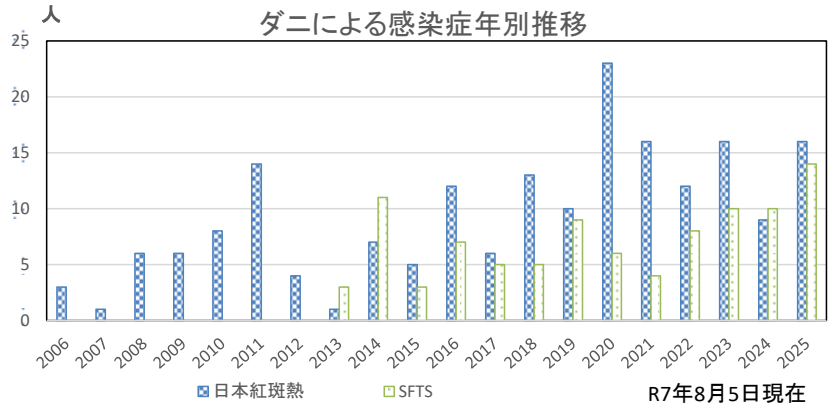
＊百日咳（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/whooping_cough.html

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）、日本紅斑熱の報告が増加しており、SFTS は 2013 年の届け出開始以降、最多の報告数となっています。

初診月	2021年(R3)		2022年(R4)		2023年(R5)		2024年(R6)		2025年(R7)	
	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS	日本紅斑熱	SFTS
1～3月	1	2		1		4		2		
4～6月	7	2	2		8	3	4	4	16	11
7～9月	3		8	3	5	2	3	2		3
10～12月	5		2	4	3	1	2	2		
計	**16**	**4**	**12**	**8**	**16**	**10**	**9**	**10**	**16**	**14**



「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で 3～4㎜）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も農作業やレジャーなど野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、ネコやイヌなどの動物が感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

●予防方法

＊マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
＊野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
＊忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください。）
＊野外活動後はダニに咬まれていないか確認しましょう。
＊飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
＊体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

＊野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
＊受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

＊重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

＊高知県衛生環境研究所　ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
31	突発性発しん	38℃, 発疹	4	男	須崎	Human herpes virus 6
						Echovirus 18
31	手足口病	発疹	5	男	須崎	Human herpes virus 7
						Echovirus 18
31	手足口病	咳嗽, 発疹, 咳嗽	4	女	須崎	Enterovirus 71
31	RSウィルス感染症	39℃, 咳嗽, 気管支炎	2	女	幡多	Respiratory syncytial virus B
31	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃	5	男	須崎	Parainfluenza virus 2

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
30	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽	5か月	男	幡多	Parainfluenza virus 3
						Rhinovirus
30	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽	3	男	幡多	Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内　　容	保健所
2 類	結　　核	1	34	60 歳代 男性	中央東
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	20 歳代 男性	
		1		20 歳代 男性	高知市

類型	疾病名	件数	累計	内　　容	保健所
5 類	百日咳	1	1095	20 歳代 男性	中央東
		3		0～4 歳 女性	高知市
		10		5～9 歳 男性	
		3		5～9 歳 女性	
		4		10～14 歳 男性	
		2		10～14 歳 女性	
		5		15～19 歳 男性	
		1		30 歳代 男性	
		2		40 歳代 男性	
		2		40 歳代 女性	
		2		50 歳代 女性	
		1		5～9 歳 女性	中央西
		1		15～19 歳 男性	
		1		30 歳代 男性	
		1		30 歳代 女性	
		2		0～4 歳 男性	幡　多
		5		0～4 歳 女性	
		1		5～9 歳 男性	
		1		20 歳代 男性	
		1		60 歳代 男性	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情　　報
中央東	いちはら内科・小児科	マイコプラズマ 2 例（6 歳男、10 歳男）
	JA 高知病院小児科	細菌性腸炎 1 例 マイコプラズマ肺炎 8 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ気管支炎 1 例（4 歳） RS ウイルス感染症 11 例 COVID-19 16 例 カンピロバクター腸炎 1 例（8 歳） 百日咳 1 例（9 歳）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 6 例（流行が続いている） 手足口病 4 例 ヘルパンギーナ 6 例 伝染性紅斑 4 例 COVID-19 10 例（流行しはじめた） RS ウイルス感染症 2 例
	細木病院小児科	マイコプラズマ気管支炎 1 例（2 歳男） マイコプラズマ感染症 2 例（8 歳女、10 歳女） マイコプラズマ肺炎 2 例（10 歳男、10 歳女） 百日咳 2 例（5 歳男、7 歳男） COVID-19 6 例 RS ウイルス感染症 2 例 咽頭結膜熱 1 例 溶連菌感染症 7 例 感染性胃腸炎 1 例 手足口病 1 例 伝染性紅斑 2 例 ヘルパンギーナ 3 例

保健所	医療機関	情　　報
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ感染症 5 例 （1 歳女、3 歳女、5 歳女、9 歳男、10 歳女）
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 4 例 （6 歳女、8 歳女、12 歳女、15 歳女） マイコプラズマ肺炎 1 例（7 歳男） 百日咳 1 例（9 歳女）
須　崎	もりはた小児科	COVID-19 4 例 百日咳 1 例（8 歳） サルモネラ腸炎 1 例（4 歳男） ヘルパンギーナ 4 例

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850　高知市丸ノ内2-4-1　高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961　FAX：088-821-4696
※この情報に記載のデータは 2025 年 8 月 5 日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

第31週　令和7年7月28日（月）～令和7年8月3日（日）　　高知県衛生環境研究所

定点名（定点数）	保健所 / 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国（30週）	高知県（31週末累計）R6/12/30～R7/8/3	全国（30週末累計）R6/12/30～R7/7/27
急性呼吸器感染症（38）	急性呼吸器感染症(ARI)*	55	376	794	184	92	187	1,688 (44.42)	1,314 (34.58)	185,656 (48.20)	24,169 (636.03)	3,363,812 (875.08)
	インフルエンザ		2	1			1	4 (0.11)	15 (0.39)	1,223 (0.32)	7,977 (209.92)	621,388 (143.74)
	新型コロナウイルス感染症	13	31	104	21	20	30	219 (5.76)	183 (4.82)	15,924 (4.12)	4,706 (123.84)	424,099 (98.10)
小児科（20）	咽頭結膜熱			2		2	1	5 (0.25)	6 (0.30)	1,061 (0.45)	164 (8.20)	32,082 (11.90)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	21	2	2	4	33 (1.65)	35 (1.75)	3,775 (1.60)	1,556 (77.80)	183,591 (68.12)
	感染性胃腸炎		3	35	1	3	7	49 (2.45)	30 (1.50)	9,880 (4.19)	2,750 (137.50)	567,124 (210.44)
	水痘			3			2	5 (0.25)	3 (0.15)	799 (0.34)	98 (4.90)	28,509 (10.58)
	手足口病		2	12			3	17 (0.85)	15 (0.75)	1,380 (0.59)	242 (12.10)	13,483 (5.00)
	伝染性紅斑			12	2		8	22 (1.10)	21 (1.05)	4,423 (1.88)	520 (26.00)	99,283 (36.84)
	突発性発疹			4		1		5 (0.25)	10 (0.50)	785 (0.33)	168 (8.40)	21,331 (7.92)
	ヘルパンギーナ		3	16	7	4	17	47 (2.35)	81 (4.05)	3,852 (1.63)	597 (29.85)	21,955 (8.15)
	流行性耳下腺炎			1				1 (0.05)	1 (0.05)	125 (0.05)	28 (1.40)	4,324 (1.60)
	RSウイルス感染症		7	26			2	35 (1.75)	22 (1.10)	1,239 (0.53)	505 (25.25)	56,488 (20.96)
眼科（3）	急性出血性結膜炎							( )	( )	10 (0.01)	( )	844 (1.22)
	流行性角結膜炎							( )	1 (0.33)	580 (0.83)	27 (9.00)	16,783 (24.25)
基幹（8）	細菌性髄膜炎							( )	( )	4 (0.01)	2 (0.25)	277 (0.58)
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	( )	32 (0.07)	6 (0.75)	486 (1.01)
	マイコプラズマ肺炎		1	8			2	11 (1.38)	6 (0.75)	401 (0.83)	159 (19.88)	7,255 (15.11)
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）							( )	( )	4 (0.01)	( )	66 (0.14)
	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）							( )	( )	9 (0.02)	22 (2.75)	1,725 (3.59)
計（ARIを除く）		13 (4.33)	53 (10.47)	246 (26.40)	33 (11.25)	32 (11.00)	77 (21.10)	454 (18.33)		45,506	19,527 (665.16)	2,101,093
前週（ARIを除く）		19 (7.67)	46 (8.93)	174 (19.17)	48 (18.75)	43 (13.75)	99 (26.80)		429 (17.49)			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例　　注　（　）は定点当たり人数

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

高知県感染症情報（49定点医療機関）定点当たり人数

定点当たり　　第31週

定点名（定点数）	保健所 / 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国（30週）	高知県（31週末累計）R6/12/30～R7/8/3	全国（30週末累計）R6/12/30～R7/7/27
急性呼吸器感染症（38）	急性呼吸器感染症(ARI)*	18.33	53.71	61.08	46.00	23.00	26.71	44.42	34.58	48.20	636.03	875.08
	インフルエンザ		0.29	0.08			0.14	0.11	0.39	0.32	209.92	143.74
	新型コロナウイルス感染症	4.33	4.43	8.00	5.25	5.00	4.29	5.76	4.82	4.12	123.84	98.10
小児科（20）	咽頭結膜熱			0.25		1.00	0.33	0.25	0.30	0.45	8.20	11.90
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	2.63	1.00	1.00	1.33	1.65	1.75	1.60	77.80	68.12
	感染性胃腸炎		0.75	4.38	0.50	1.50	2.33	2.45	1.50	4.19	137.50	210.44
	水痘			0.38			0.67	0.25	0.15	0.34	4.90	10.58
	手足口病		0.50	1.50			1.00	0.85	0.75	0.59	12.10	5.00
	伝染性紅斑			1.50	1.00		2.67	1.10	1.05	1.88	26.00	36.84
	突発性発疹			0.50		0.50		0.25	0.50	0.33	8.40	7.92
	ヘルパンギーナ		0.75	2.00	3.50	2.00	5.67	2.35	4.05	1.63	29.85	8.15
	流行性耳下腺炎			0.13				0.05	0.05	0.05	1.40	1.60
	RSウイルス感染症		1.75	3.25			0.67	1.75	1.10	0.53	25.25	20.96
眼科（3）	急性出血性結膜炎									0.01		1.22
	流行性角結膜炎								0.33	0.83	9.00	24.25
基幹（8）	細菌性髄膜炎									0.01	0.25	0.58
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.07	0.75	1.01
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.60			2.00	1.38	0.75	0.83	19.88	15.11
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									0.01		0.14
	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）									0.02	2.75	3.59
計（ARIを除く）		4.33	10.47	26.40	11.25	11.00	21.10	18.33			665.16	
前週（ARIを除く）		7.67	8.93	19.17	18.75	13.75	26.80		17.49			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）　疾病別・年齢別報告数　　2025年　31w

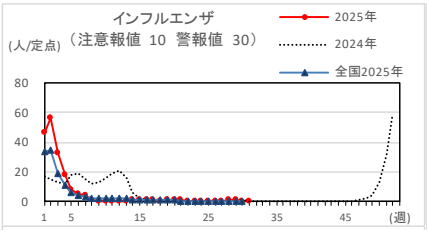
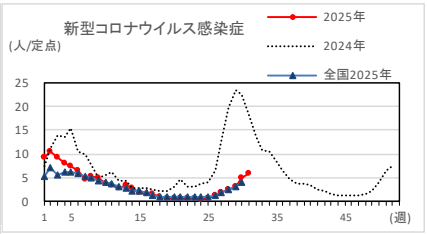
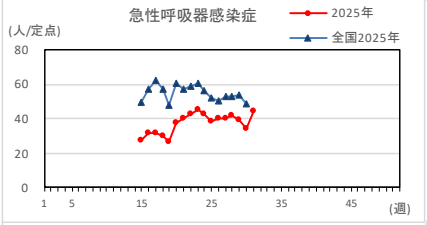
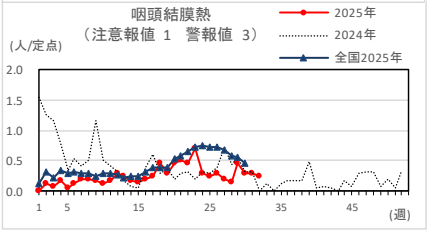
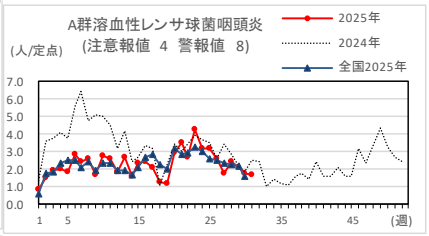
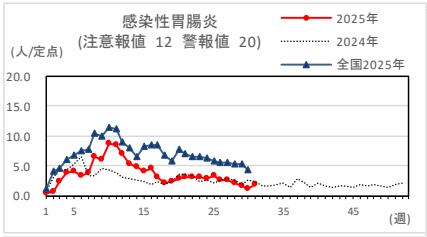
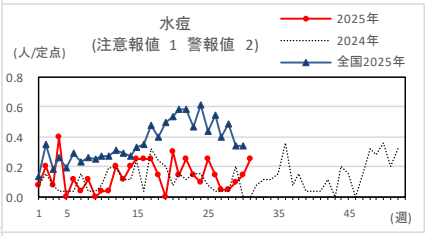
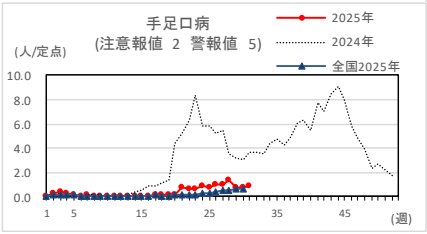
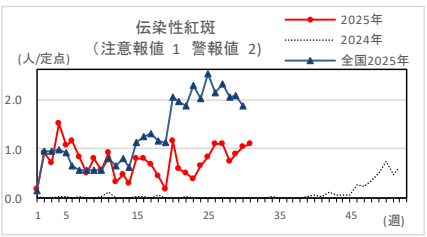
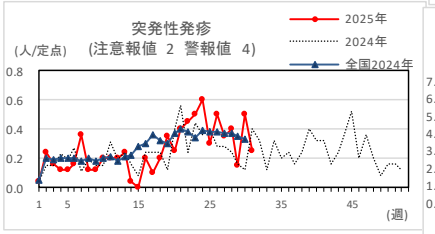
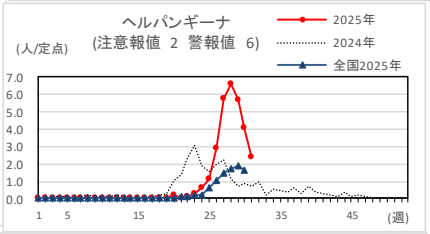
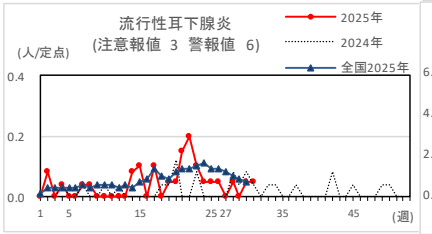
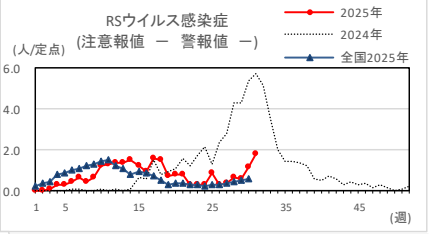
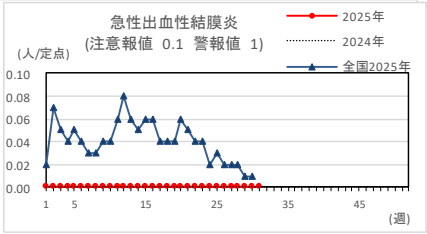
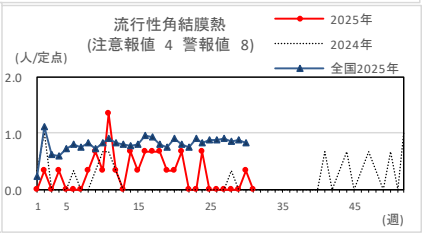
定点(定点数)	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症(38)	急性呼吸器感染症(ARI)*	1,688	159	578	341	136	61	56	66	50	45	50	79	67

定点(定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症(38)	インフルエンザ	4														1	1				1	1
	新型コロナウイルス感染症	219	5	1	9	6	1	4	2	2	1	1	1	13	5	16	25	20	29	22	26	30

定点(定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
小児科(20)	咽頭結膜熱	5			4				1							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33		1	2	2		8	1	5	1	2	2	6	1	2
	感染性胃腸炎	49	1	1	6	7	4	5	2	5	3	4	2	7		2
	水痘	5				1							1	2	1	
	手足口病	17	2		3	4	4	1	2	1						
	伝染性紅斑	22			1	2	5	2	3	1	1	3	2	2		
	突発性発疹	5		1	4											
	ヘルパンギーナ	47		6	11	10	11	3	1	1	3	1				
	流行性耳下腺炎	1						1								
	RSウイルス感染症	35	3	5	19	8										

定点(定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
眼科(3)	急性出血性結膜炎																				
	流行性角結膜炎																				

定点(定点数)	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30~34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
基幹(8)	細菌性髄膜炎																	
	無菌性髄膜炎	1																1
	マイコプラズマ肺炎	11			3	4	1			1		1		1				
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）																	
	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移　2025年第31週
（急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点）